消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

１．事故・ヒヤリハットの別	事故
２．体験した事例の名称	訓練等設営に係る資器材搬送中に起きた転落事故
３．体験した事例の中心的要素	訓練等設営に係る資器材搬送中において、高所より資器材を搬出する際に誤って高所（約２．５ｍ）より転落したもの。
４．体験した事例の原因・理由	自分自身の不注意と、高所作業での自己確保の不徹底。

【体験した事例の直接的原因について】

１．体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。

【体験した事例について】

１．発生日時	平成　21 年 4 月 8 日　　午後　3 時頃
２．発生した当時の天候	晴
３．発生した活動現場	屋内：消防用車庫内にある、訓練塔用資器材保管場所
４．体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
５．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
６．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落、
７．事例体験時の活動	その他：　[　]
８．（７の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：訓練塔設営に係る資器材搬送中
９．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者Ａ	年齢[19]歳、 勤続年数[2]年、 現場経験年数[1] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者Ｂ	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者Ｃ	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 （当事者が４人以上の場合）	小隊員５名（当事者Ａを含む）

１１．事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過１	小隊員５名（Ａを含む	訓練等設営に係る資器材の搬送を開始。	資器材保管は消防車庫内にある資材置き場
経過２	当事者Ａ	資材置き場（約２．５ｍ）の場所から転落する	
経過３			
経過４			
経過５			
経過６			
経過７			
経過８			
経過９			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。個人装備が不適切だった。足元の安全が確保できていなかった。

○心理・体調について

ａ．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

ｂ．注意力が欠如していた

・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c．経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d．心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

e．資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

f．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g．行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h．足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

i．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

l．その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

○注意力欠如、焦り等の対策について

仕事内容を十分把握し、指揮者の指揮監督の下に安全管理を徹底し、焦らず、慌てず確実に業務を推進していくよう心がけていく。（当事者 A）

○装備・資機材の対策について

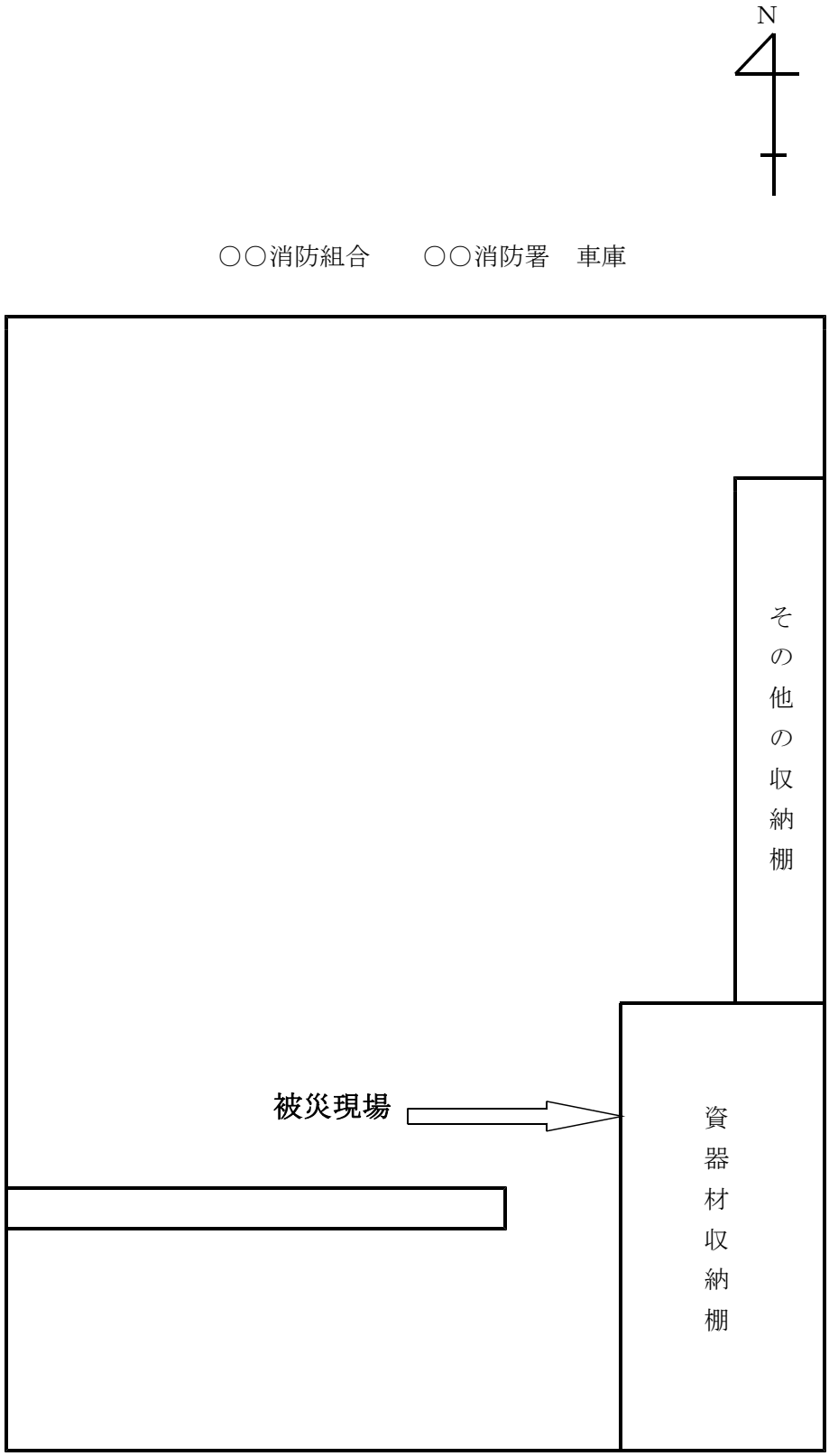
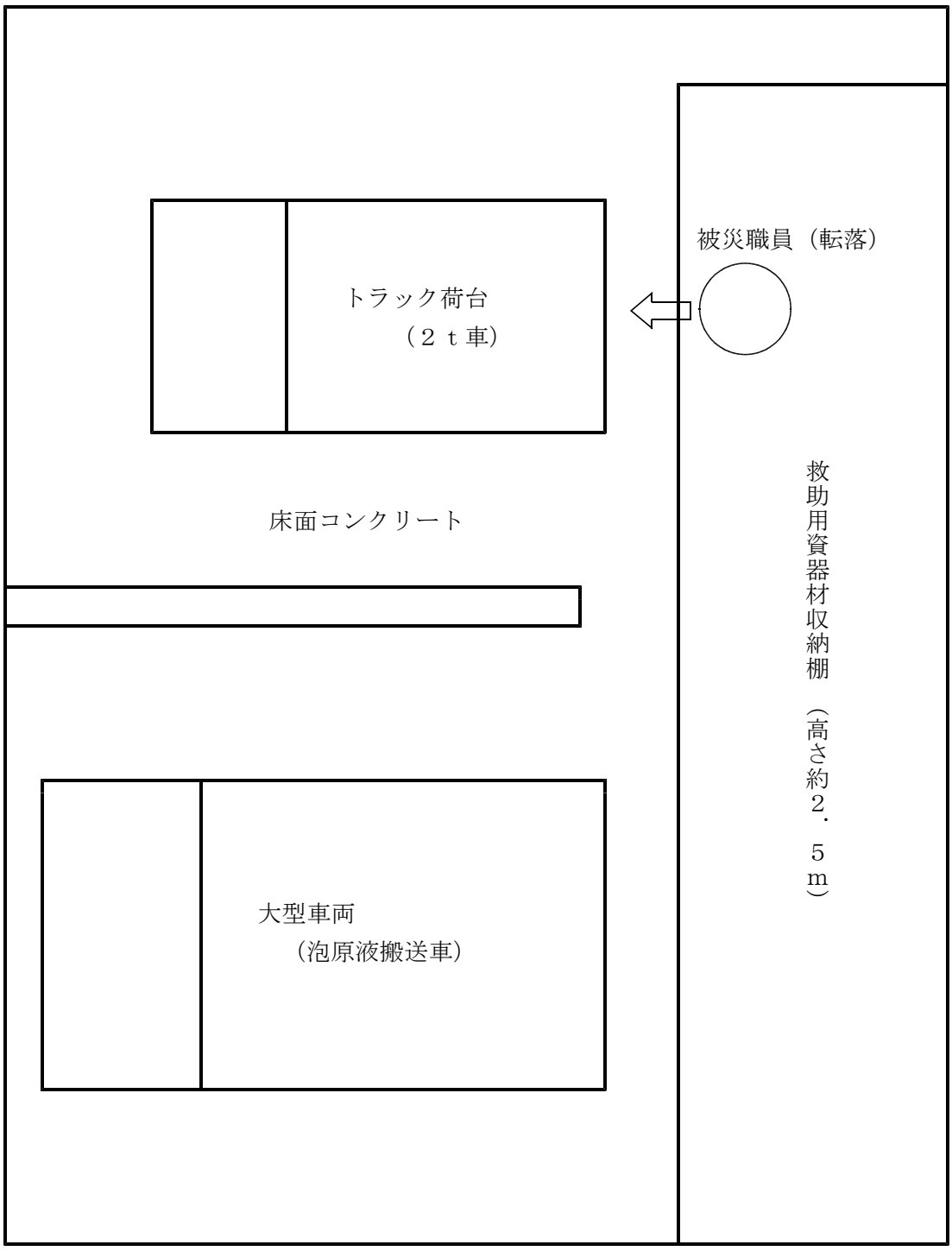
高所での作業においての安全確保はもちろんであるが、常時自己の安全管理を徹底すると共に、資器材の保管場所の整備等も行っていく。（当事者 A）

○活動環境の対策について

どのような業務においても、まず二次災害の危険予知を行い、活動環境及び作業環境を整えて業務を推進していく。（当事者 A）

○指揮・情報伝達の対策について

現　場　見　取　り　図



現　場　詳　細　図